

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790300016	
法人名	株式会社 ジェイバック	
事業所名	グループホーム もも太郎さん 谷田川	
所在地	郡山市田村町谷田川字表前58-1	
自己評価作成日	平成25年2月26日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒970-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成25年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設には、ご家族一緒に生活できる家族部屋を2部屋設置し、ご夫婦での入居受け入れに対応しております。利用者様は、ご本人が望む自由な生活が引き続き営まれるよう、ご本人の意思に配慮した支援を心がけております。隣接の地元小学校様とは、定期的な交流があり、生徒の皆様の慰問訪問は利用者様に大変好評を頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員の意見や提案が反映され、利用者にとって居心地の良い事業所になるように努力している。管理者は地域住民、小学校、地域消防団、老人会等との連携を深め、地域に密着した事業所になるよう取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごさせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	サービススローガンを全社共通サービス目標に掲げ取り組んでいます。	理念を職員全体で共有できるように、常に啓蒙している。定期開催のミーティングの中で、提供するサービスが理念とずれがないかを話し合い、日々の実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	谷田川小学校の生徒さんとの定期的交流を継続してこないよりよい関係の維持に努めております。	季節行事には隣接する小学校の生徒が来所し、一緒に阿波踊りを楽しんだりと交流を深めている。管理者は地域へ積極的に出向き、高齢者の家族から相談を受けたり、講話依頼を受け、老人会に出向くなど日常的に交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元敬老会(寿会)に定期的に参加し、介護や認知症への理解を深めていただけるよう講和を行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の際に施設の空き情報、イベント情報等をお知らせし、随時ご理解ご協力いただける関係の維持に努めております。	会議内にて、現状や事業所情報を報告し、理解を得ている。会議に参加している、民生委員や地域包括支援センターから意見や要望を受け、運営に生かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員様との意見交換を時間を設けて都度行い、ご意見を参考に、サービス向上に生かすよう取り組んでおります。	定期的に介護相談員の訪問があり、意見や助言を受け、文書で確認している。利用者の状況により、市の担当者と連携を取りながら対応している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社の理念(自由と家族の絆)を常に意識しに基づくケアを常に心がけ、常に利用者様の行動行為を抑制せず自由に生活頂けるよう配慮しております。	身体拘束に対する意識を高めるために、研修会へ積極的に参加している。言葉による禁止も身体拘束になるとの考えを持ちケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	不定期ではありますが、施設内研修を行い周知徹底に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全社的に不定期ではありますが外部講習会等を開催しておりますが、当施設職員の参加はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結は、全て管理者説明のもと行っております。契約文書内の重要な事項(双方の債権債務、料金等)については、誤解がないよう特に丁寧な説明を心がけております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様ご家族の面会等で直接お会いした際に、出来る限り、ご意向、ご希望等を伺うしております。職員が直接聞いたご意見等については、定例会議の中で取り上げ、随時対応を検討しております。	面会等に話し、意見や要望等を伺うようになっている。これまで以上に意見等を運営に反映させるために、アンケート等を実施しようと計画している。いただいた意見は職員間で共有するようになっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員から提出される業務改善シートに個々の意見や提案を記載してもらい改善活動を継続的にしております。	職員の意見は業務改善シートの活用で管理者に集約され、日常的な事から運営に関する事まで定例会議で検討・改善されている。内容によっては管理者会議等、法人全体で検討し対応されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に、職員の意見を基に全社的な運営方針を決定しております。月例会議(事業所別、県内ブロック別、ブロック長)の中で問題点解決を図り、決定事項は全社標準化のもと実行しております。給与については、本年度4月に大幅な改定を行う予定です。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在は職員不足の状況もあり、外部研修参加の機会が作れておりません。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	件主催の認知症介護に関わる研修(実践者、管理者同業者との交流はありません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接本人からの意見や意向があれば、サービスに取り入れるよう努めております。定期的に来設される介護相談員様からのヒアリング情報も参考にさせていただいております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約締結前の面談等の際に、出来る限りご家族様からお話をいただけるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者と施設ケアマネが協力して、ご家族やご本人様との面談を行っております。利用を決める際には、施設見学に引き、本人ご家族が望む環境かどうかを見定める機会を設けております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中での役割を持っていただける支援は、現在の利用者様の状況もあり、あまりできておりません。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には通院時の外出同行や、急変時の見守り対応等、可能な限りご協力いただいております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	人員不足の状況もあり、外出支援があまりできておりません。	近所の方やこれまで関係のあった方が来所され、一緒にお茶を飲んで談話されていくなど、継続的な交流が出来るように働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を考慮して、利用者様同士がストレスを抱えないよう、相性を見極めを行いより良い関係の維持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	実績はありませんが、問い合わせや相談を受けた際には、出来る限りの対応をさせていただきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランに極力本人の意向を反映させていただいております。	職員全員が利用者本人との話しや日々の行動などから、思いや意向を把握するように努めている。家族やこれまでの暮らしをふまえ思いをくみとるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やご本人様からお聞きした情報を基に、個々にアセスメントシートを作成し、サービスに反映させていただいております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月例会議の中で毎回、皆で状況確認を行っております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月例会議の中で、担当職員全員でモニタリングを行い、都度ケアの改善に取り組んでおります。	モニタリング内容を職員全員参加のカンファレンズで検討し、介護計画を作成している。具体的支援内容が記載されているケアシートを活用する事で、統一されたケアが実施されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	モニタリングと個々の職員のサービス改善につながる意見等を協力サービスに反映できるよう、皆で考えながらケアの向上に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員からのアイデアは積極的に取り入れ、実施の検証し、更なる改善を皆で進めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	春秋を中心に地域名所への野外散策(ドライブ)や畑仕事等の体験等を行って頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様の意向に合った医療機関を都度紹介させていただいております。また、ご本人様の体調の変化に合わせ、他の適切な医療機関への紹介も、担当往診医協力のもと、行っております。	本人や家族の希望に沿った医療機関を受診することができている。隣接する医院受診が多く、月2回往診して頂き、体調管理を行っている。受診医院と他の医療機関との連携も良く、体調変化時には担当医の判断、協力で、適切に対応できる支援体制が整っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の状態の変化については都度、看護師訪問の際に伝え、適切な医療対応をして頂けるよう努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、必ず管理者が同行し情報提供を含め相談などに応じております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	担当往診医師とご家族との間で事前に対応についての意向を確認しております。	事業所内で看取りを行ったことはないが、重度化も進み希望される方もいる。終末期のケアに取り組みよう支援体制を整えようとしている。	本人や家族の希望・意向をその時の身体状況に合わせて話し合いながら、具体的な対応などについて文書で確認するなどの方法を検討され、事業所が対応しうる最大の支援が出来るように期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本年度の訓練は未実施です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設単独での避難訓練は定期的を実施しておりますが、外部からの協力援助の体制構築は今後の課題です。	マニュアルを作成し、年2回、消防署と連携しながら夜間を想定した災害を重視した避難訓練を行っている。管理者は地域消防団に参加し、地域との連携に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自社サービスローガンにも含まれており、職員一同意識して対応しております。	利用者一人ひとりの状況に合わせ、言葉かけやケアの内容にも敬意を払いながら取り組んでいる。管理者が行う職員教育や新人教育の中で、利用者の尊厳を傷つける事がないよう指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、ご本人が自由であることが会社の理念であり、自由にものが言える環境づくりを常に意識して行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自社サービスローガンにも含まれており、職員一同意識して対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出しての買い物支援がまだ出来ておりません。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一部の利用者様のみが下膳のみ行っている状況です。飲み物等は、種類を増やし本人の嗜好に合わせて提供させていただきます。	干し柿づくりを行ったり、季節行事等の手伝いを通して、存在能力を引き出しながら食事へ関心が得られるような取り組みがなされている。複数の飲み物を準備し、本人の嗜好に合った提供を心掛け、利用者の希望を献立に組み入れたりしながら食事が楽しめるように支援されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成した献立等を参考にしながら偏り無く高齢者に好まれるようなメニュー作りを心がけております。水分は、基準をクリアできるよう、都度チェックし、ご本人が極力好むものを提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前の口腔ケアのみ支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	便宜、尿意の訴えが出来ない利用者様には、都度声掛けを行い極力トイレで排泄頂けるよう、また極力オムツ類を使わない支援を心がけております。	利用者本人の排泄行動を把握し、さりげない声かけや周囲に配慮した誘導により、出来る限りトイレで排泄が出来るように支援されている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	メニューを工夫し野菜を多く摂取いただけるよう配慮しております。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	自分で意思表示できる利用者様には、意志を尊重し希望に応じた入浴支援をしています。	利用者の希望する時間に入浴できるようにし、身体状態に応じて足湯・流し湯等の対応もされている。入り口に暖簾をかけるなど、楽しく入浴できるようインテリアにも工夫がなされている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的に自由に休息を取っていただいております。意思表示できない利用者様には、その時ご本人の様子等を見て、休息していただいております。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一部の職員のみ理解できている状況です。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	極力利用者様の嗜好把握に努め支援に生かす努力をしています。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員不足の状況もあり、外出支援の機会が少ない状況です。	畑づくりや庭でのお茶会など、戸外で楽しく過ごす事が出来るように支援している。花見や紅葉狩りなどは職員が積極的に関わり、他に希望があれば家族等と協力し、出掛けられるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる利用者様には、金銭管理いただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば都度対応しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ウォールステッカーや馴染みの有るポスター等を掲示し、心地よい雰囲気作りに努めております。	窓が大きく、開放的な空間となっており、明るい居心地の良い共有空間が実現している。利用者手作りのカレンダーや作品が飾られ、利用者が和やかに親しみやすいよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間は気の合う方同士が一緒になれるよう、配慮したレイアウト作りを心がけております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室が広い為、ご家族様が大量で面会に来られても、そこでゆっくりお過ごしいただいております。お部屋には、使い慣れた家具などを自由に持ち込んでいただけるよう、契約時に説明させていただいております。	居室が広く、ゆったりと過ごす事が出来ている。利用者のこれまでの生活や習慣を尊重し、持ち込みを制限しない居室づくりがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の動線に配慮したレイアウト作りを心がけております。		